



市議会だより

かかみがはら

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会



加佐美神社秋の例大祭（10月10日）

9月定例会

目次

主な議案説明	2
委員会審査	4
審議結果	6
委員会調査報告	7

市政を問う 一般質問

公共施設予約方法の見直し	8
子宮頸がんワクチン接種に助成を	9
小中学校にエアコン設置を	10
集中豪雨・洪水に対する備え	11
市民の声、議会素描	12

平成21年度一般会計決算

総額471億3378万円を認定

(仮称)各務原大橋、リサイクルセンター建設事業など

平成22年第3回定例会(9月定例会)を9月6日から9月30日の25日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、平成21年度一般会計決算をはじめとする26案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり認定・可決・同意しました。

第3回定例会に市長から提出された議案は、

- ・決算の認定 7件
- ・予算の補正 4件
- ・人事の案件 2件
- ・条例の改正 10件
- ・工事請負契約の締結 1件
- ・市道路線の認定・廃止 2件

の合計26案件です。

主な議案内容は、次のとおりです。

441億9588万7181円となりました。

21年度は世界的な経済不況の影響により税収が大幅に落ち込むなど、地方財政は極めて厳しい状況となりました。本市も例外ではありませんでしたが、これまで培った財政力を背景に、未来の豊かさを創造する基盤整備を着実に実施しました。

**21年度
一般会計決算**

21年度一般会計の決算額は、歳入471億3378万7906円、歳出

また、文化が薫る「音楽の街」を目指した事業を実施するなど、教育・福祉・文化など幅広くバランスの取れた事業を積極的に展開しました。

21年度の主要事業は下

記のとおりです。

さらに、21年度は12年からスタートした新総合計画の総仕上げの年でした。

この計画期間中、新総合計画や川島町との合併による新市建設計画に掲げた事業を積極的に展開すると同時に、行財政構造改革やカイゼン運動を強力に推進することで都市経営を強化し、財政体力を向上させてきました。

これらの事業を行った結果、新総合計画は140%に迫る達成率となり、さらに財政力を高めることもでき、「元氣な各務原市」を実現できました。

21年度の主な事業

●(仮称)各務原大橋建設事業

那加地区と川島地区を結ぶため、木曾川に新橋を架け、取付道路を整備するものです。

●稲羽コミュニティセンター建設事業

稲羽地区における自治会活動、教養講座などに利用できる集会施設と稲羽市民サービスセンターの複合施設で、地域に溶け込むシンブルな施設として完成しました。

●リサイクルセンター建設事業

旧北清掃センターを解体し、跡地に破砕施設・リサイクル施設を整備しています。

21年度は、粗大ごみ破砕施設建設工事及びペトボトル減容機の更新などをを行いました。

●各務原音楽コンクール事業

県内在住、在学者を対象にしたコンクール(声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器)を開催しました。

●ごんぼ積み集落景観まちづくり計画策定事業

新たに重点風景地区として指定し、具体的な整備方針を定めるものです。



稲羽コミュニティセンター(上戸町)

●中山道鵜沼宿まちづくり事業

中山道鵜沼宿のまちなみを再生するため、脇本陣などを整備しました。



ごんぼ積み集落(川島渡町)

22年度 補正予算

22年度一般会計補正予算 (第2号)

緊急雇用創出を伴う事業をはじめ、(仮称)各務原大橋改良事業、鵜沼駅東部土地区画整理事業、少年自然の家外装リニューアル事業など、当面の行政需要に対応するために歳入歳出予算、債務負担行為並びに地方債の補正を行うものです。

- 歳入の主なもの
 - ・国庫支出金 6億7460万1千円
 - ・県支出金 4605万9千円
 - ・繰越金 3億5064万7千円
 - ・市債 減額3億3500万円
- 歳出の主なもの
 - ・(仮称)各務原大橋改良事業費 3億円
 - ・鵜沼駅東部土地区画整理事業費 9768万3千円
 - ・街路樹せんだ事業費 1569万9千円



外装がリニューアルされる少年自然の家

・少年自然の家外装リニューアル事業費 4726万円

この結果、22年度一般会計の予算規模は7億3730万7千円を追加し、補正後の予算総額は43億6103万円となります。

議員派遣

○全国市議会議長会主催の海外都市行政調査団の一員として、4名の議員を派遣するものです。

目的 オーストラリア・ニュージールランド各都市の特色ある施策、議会制度、構造改革、環境政策、教育改革、財政改革に関

する調査
期間 10月6日～14日
派遣議員

太田松次、水野岳男
目的 アメリカ・カナダの各都市の特色ある施策、議会制度、市民参画制度、環境対策、教育制度、都市再開発政策に関する調査
期間 10月13日～21日
派遣議員

浅野健司、川嶋一生
○市議会だよりの編集に関する調査をするものです。

目的 福島県郡山市、会津若松市へ市議会だよりの編集に関する調査
期間 10月28日～29日
派遣議員

高島貴美子、川嶋一生、水野岳男、池戸一成、杉山元則、梅田利昭

その他の議案

工事請負契約の締結
(仮称)各務原大橋上部工工事(その2)を随意契約により清水・前田特定建設工事共同企業体

と4億845万円で締結するものです。

福祉センター条例等の一部改正

公の施設の使用料に市内・市外料金を定めることや、口座振替ができる

よう関係規定を整備するものです。

集会場設置条例等の一部改正

公の施設から暴力団の利益となる使用を排除するものです。

他市等からの視察受け入れ状況(22年度)

全国の地方公共団体の議員が、本市の特色ある施策について視察研修に訪れています。

- 東京都町田市
- 景観計画
- 新潟県燕市
- 立志塾
- 富山県滑川市
- 「行政改革の取り組み」
- 埼玉県草加市
- 「景観行政」
- 兵庫県稲美町
- 「文化施設等の指定管理」
- 宮城県東松島市
- 「防災・基地対策」
- 岩手県奥州市
- 「行政改革」
- 岡山県笠岡市
- 「家族・地域・絆プロジェクト」
- 静岡県藤枝市
- 「新総合計画」
- 東京都あきる野市
- 「財政状況」
- 神奈川県海老名市
- 「基地対策」
- 宮崎県延岡市
- 「公園都市構想」
- 「都市計画マスタープラン」
- 東京都中野区
- 「公園都市づくり」
- 熊本県人吉市
- 「景観行政」
- 埼玉県川口市
- 「地域ブランド創出事業」
- 静岡県森市宮崎場
- 「河川環境楽園」
- 石川県小松市
- 「新総合計画」
- 石川県能美市
- 「キムチ鍋で町おこし」
- 大阪府河内長野市
- 「生涯学習木曽川学アカデミー」

委員会審査



総務常任委員会

21年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 市税の滞納解消のための取り組みは何をしてきたのか。

▽答 早期に滞納者無くすために、督促状を出した翌月に毎月5日間、電話催告を行っている。

そのほか、うっかり忘れを防ぐため、口座振替の推進や、市民税の特別徴収などの普及に努めている。

▼質疑 行財政構造改革の第一次大綱が21年度に終わったが、その成果は。

▽答 当初の計画では52項目挙げていたが、54項目まで行うことができ、達成率は103・85%で

今期定例会で委員会に審査の付託を受けました24案件について、9月21日～27日のうち4日間常任委員会を開催し、審査を行いました。

各常任委員会の主な質疑内容は次のとおりです。

ある。

事務事業の再編処理、民間委託等の推進、定員管理、給与の適正化、第三セクターの見直しなどによる経費の削減により、50億4169万円の財政効果があつた。

▼質疑 新型インフルエンザの予防接種受診者数が132名とあるが、どのような職員が接種したのか。

▽答 消防救急業務従事者である。

▼質疑 工事関係の契約が、20年度に比べ18億円の減になっているのはなぜか。

▽答 20年度は、リサイクルセンター建設工事、蘇原第一小学校屋内運動場の改築工事といった大きな事業があつたことなどが要因である。

民生消防 常任委員会



今年度完成するリサイクルセンター

21年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 21年度末で生活保護人員が617人と大幅に増加したが、就労支援の方法と成果は。

▽答 ハローワークと連携し支援する方法では25人に支援を行い、生活保

護を受けなくなった人は5人であつた。

ケースワーカーが就労支援する方法では118人に支援を行い、生活保護を受けなくなった人は9人であつた。

▼質疑 子宮頸がん、乳がんの検診無料クーポン配布の効果は。

▽答 子宮頸がん検診では、クーポン券を4916人に配布し、うち1015人が受診した。

子宮頸がん検診全体で1145人増加した。

乳がん検診では、クーポン券を5074人に配布し、うち1194人が受診した。

乳がん検診全体で954人増加した。

全体的に見てクーポン券配布の効果があつたと思われる。

▼質疑 インフルエンザ騒動による休日急病診療の影響は。

▽答 休日急病診療の患者数は2885人で、前年より約千人増加した。1日平均でも約30人が

ら43・1人となった。

▼質疑 インフルエンザの予防接種を低所得者が無料で接種できたが、どのくらいの利用があつたか。

▽答 補正予算で5千人を想定していたが、国のワクチンの供給体制がなかなか整わず、非課税世帯で接種した人は711人であつた。

21年度国民健康保険事業特別会計決算の認定

▼質疑 100億円近い保険給付費を抑える努力は。

▽答 特定健診をはじめ軽スポーツ交流会や健康体操などの病氣予防事業のほか、医療費通知や人間ドックなどを行っている。



健康体操(那加福祉センター)

経済教育 常任委員会

21年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 現在3路線で運行されているふれあいバスだが、利用者からの要望はあるか。

▽答 19年7月に6路線から3路線に変更した。路線をつないだことで

乗り継ぎがなくなり、100円で行けるようになったことで喜ばれている。

▼質疑 アニメ映像創造産業の育成にどんな取り組みをしているか。

▽答 粘土を使ったコマ撮りアニメを作成してお



クレイアニメの製作

り、子どもたちにも取り組みやすいことから、19年から取り組んでおり、今年が4年目である。

▼質疑 小中学校学力テストの状況は。

▽答 算数・数学・国語でいずれも全国平均を上回った。

しかし、苦手分野もあるので、各学校の中で補い、レベルを上げようと取り組んでいる。

▼質疑 図書館に寄贈された本は何冊か。

▽答 一般書1505冊、児童書は335冊の寄贈があった。

▼質疑 学校図書館の本はどのように購入しているのか。

▽答 それぞれの学校に、児童生徒数に応じた標準冊数があり、それを目標に購入している。

▼質疑 中山道鵜沼宿まちづくり事業の評判は。

▽答 5月30日に脇本陣をオープンした。

鵜沼宿のにぎわいを創出する施設が増えたことで、評判も良く、来客数

も増えている。



中山道鵜沼宿の脇本陣

建設水道 常任委員会

21年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 (仮称)各務原大橋につながる那加小網線の用地取得の進捗よく状況は。

▽答 那加小網線本線の用地の取得状況は、21年度末現在費用ベースで91.05%、面積で91.63%である。

▼質疑 21年度に住宅建築物の耐震診断を無料にしたが、その診断件数と、耐震工事の増加の状況は。

▽答 14年から耐震診断を行っており、診断件数は毎年度30件から40件だったが、無料化により80件に伸びた。

耐震工事件数は毎年5件程度で変化はない。

▼質疑 都市計画マスタープランに関して、市街化区域を拡大していくための見直し業務を実施したとあるが、その内容は。

▽答 マスタープランは21年度末に公表したが、それと合わせて都市計画定期見直し業務の中で市街化区域拡大の見直しを行った。

市内で6カ所の拡大区域を検討し、県に申請し、県に認められ、現在は大臣同意の段階に入っている。

▼質疑 桜回廊計画では桜を7メートル間隔で植栽しているが、その間隔では桜が成長したときに、伐採しなければならなくなるのでは。

▽答 桜の専門家に聞くと10メートルの間隔があれば枝が重ならないと言いが、新境川の百十郎桜

が美しいのは枝と枝が多少重なり合っているからだと考えており、美しさを求め7メートル間隔を基本としている。



新境川の百十郎桜

22年度一般会計補正予算(所管分)

▼質疑 街路樹のせん定をすることだが、どこをするのか。

▽答 那加本町通り、市民公園の駐車場、産業文化センターの通りなど、今までできなかったところをやっていきたい。

▼質疑 緊急雇用創出事業で、何人の雇用を予定しているか。

▽答 人件費で767万7千円、約540人の雇用を予定している。

審 議 結 果

(9月定例会)

○21年度一般会計決算の認定・・・・・・・・・・・・・・・・	原案認定・賛成多数
○21年度国民健康保険事業特別会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・賛成多数
○21年度老人保健特別会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・全会一致
○21年度介護保険事業特別会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・賛成多数
○21年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・賛成多数
○21年度下水道事業特別会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・全会一致
○21年度水道事業会計決算の認定・・・・・・・・	原案認定・全会一致
○22年度一般会計補正予算(第2号)・・・・・・・・	原案可決・賛成多数
○22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○22年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○22年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○固定資産評価審査委員会委員の選任(廣瀬悟道氏)・・・・・・・・	原案同意・全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦(御宿則子氏)・・・・・・・・	原案同意・全会一致
○福祉センター条例等の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○集会場設置条例等の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○高齢者生きがいセンター川島園条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・賛成多数
○消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○火災予防条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○勤労者野外活動施設の管理運営に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・賛成多数
○体育施設条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○市立学校体育施設開放条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○少年自然の家条例の一部を改正する条例・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○工事請負契約の締結((仮称)各務原大橋上部工工事(その2))・・・・・・・・	原案同意・賛成多数
○市道路線の認定(市道鵜1332号線ほか2路線)・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定(市道鵜750号線)・・・・・・・・	原案可決・全会一致
○議員派遣の件(豪州・ニュージーランド都市行政視察)・・・・・・・・	原案可決・賛成多数
○議員派遣の件(米国・カナダ都市行政視察)・・・・・・・・	原案可決・賛成多数
○議員派遣の件(市議会だより編集に関する調査)・・・・・・・・	原案可決・全会一致

委員会 調査報告

建設水道常任委員会

〈期間〉7月13日～15日

○北海道小樽市

「景観条例など景観形成
に関しての取り組み」

小樽市は歴史的建造物を活かし調和のとれた景観を保つため、景観法を活用した取り組みを行っている。

21年度に景観計画、景観条例の施策を施行しており、その状況を視察した。かつては歴史的建造物の保全に数千万の費用をかけていたが、現在は年間500万円程度の予算となっているが、特徴的なのは、「小樽ファン」が支えるふるさとまちづくり寄付金」の募集が行われており、市内外の小樽ファンによる寄付金によって保全費が賄われていることである。

今後の取り組みとして、屋外広告物条例の制定、景観重要建造物・景観重

要樹木の指定などを予定している。

○北海道旭川市

都市整備計画「北彩都あさひかわ」

都市整備計画は、現段階で予算総額1130億円、長期にわたっての計画で、鉄道・駅の高架化や、街を二分している川に3本の架橋を行うなど、区画整理や道路の整備を行うビックプロジェクトである。

今後の課題は、高架化により新たに生まれる土地など、区画整理中の土地が完売できるかである。



担当から説明を受ける委員（旭川市）

○北海道東川町

「優良田園住宅事業」

10年7月施行の「優良

田園住宅の建設促進に関する法律」を受け計画された、優良田園住宅事業を視察した。

12年7月に優良田園住宅建設計画が認定され、9月に第1期の16区画の分譲予約を開始、14年5月には完売した。

また、同年1月に優良田園住宅第2期建設計画も認定され、現在では第2期の35区画中34区画が売却済みである。

購入者は第1期に比べ、第2期の道外と旭川市以外の道内の割合が増えており、現在計画予定の第3期の販売にも道外者の購入が期待されるところであるが、急激な開発は急激な高齢化を招くとの見方もあり、第3期計画には慎重であった。

総務常任委員会

〈期間〉7月20日～22日

○大分県中津市

「ネーミングライツ（命名権）事業」

中津市は、スポーツ振興を新たなまちづくりの柱として取り組んでおり、総合体育館を大貞スポー

ツ公園内に建設し、その維持管理には、太陽光発電や全国大会の誘致だけではなく、ネーミングライツ事業を実施した。

そのスポンサーは地元ダイハツ九州㈱に決まり、体育館の名称も「ダイハツ九州アリーナ」となっている。

この事業は、運営経費の安定確保、スポンサー企業のイメージアップ、使用料の負担軽減などに効果が得られており、今後の参考になる取り組みであった。

その他「債権回収対策指導課」について視察した。

○大分県大分市

「行政改革推進プラン」

ボトムアップによる数値目標が設定され、自主的な行政改革の項目を掲げられていた。

特色ある取り組みは、①市民に税金の使い道や市民活動に関心を持っていただくために、個人住民税1%相当額（上限30万円）を、まちづくりを行う団体に補助金を交付
②市民満足度調査

③特別職公用車を共用
④市民住宅駐車場の料金を有料化
などがある。

その他、福岡県久留米市において「間断なき行政改革」を視察した。各市とも安全で良質な行政サービスの持続提供のため、工夫を凝らし、また市民と行政それぞれが役割と責任を担い合う協働のまちづくりを推進し、最小の経費で最大の効果を上げる効率的な行政システムの構築を目指していた。

本市の施策に活用できる部分もあり、有意義な視察内容であった。

ぜひ今後の市政運営の参考としたい。



担当から説明を受ける委員（大分市）

市政を問う 一般質問

9月15日、16日の2日間、一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

三丸文也、水野岳男、高島貴美子、今尾泰造、杉山元則、池戸一成、
角弘二、足立孝夫、横山富士雄、永治明子、岡部秀夫、三和由紀、
波多野こうめ

公共施設予約方法の見直し 先着から抽選方式を導入へ

▼問 公共施設の予約方式は、どのように変更されるのか。

▽答 2カ月前の1日より一般の団体を対象に予約を受け付け、重複の場合は抽選方式で利用者を決定する。

続いて、2カ月前の15日からは先着予約とする。ただし、定期的に活動している団体で市が認定した団体は、3カ月前の1日から先行予約受け付けをする。

▼問 公共施設の利用料金が見直されるが、使用料減免の認定団体になるための基準は。

▽答 現行の基準を受け継ぎ、自治会、消防団、

PTAなどの公共的団体が公益的活動をする場合は使用料を免除する。

また、市の認定するクラブ、サークル、スポーツ団体などは50%減免となる。

▼問 先行して予約できる団体となるための基準



現行の公共施設の予約システム

は。

▽答 減免団体の認定を受けた団体で、定期的に活動していると市が認定した団体を予定している。

▼問 市内団体の基準は。

▽答 団体の代表者及び構成員の過半数が市内在住・在勤・在学の団体を市内団体とする。

▼問 利用料金の支払いは、口座振替が可能になるそうだが、振替手数料はいくらになる予定で、どこが負担するのか。

▽答 振替手数料は21年度利用実績により、1カ月に300件、5万円程度を見込んでいる。

ライフデザインセンターの利用料金の振替手数料は市が負担し、その他の施設は各務原市施設振興公社が負担する。

コミュニティ

▼問 地域コミュニティの将来像は。

▽答 自治会活動や市民活動がさまざまな場面で活発に、また、主体的に行われる元気な都市を目標にしている。

地域社会を構築する多様な市民がお互いに連携・協力し合うとともに、市民と行政がそれぞれの役割と責任を認識のもと、協働によるまちづくりを推進していく。

▼問 自治会活動を充実するために、各課が連携して地域コミュニティ活動を支援すべきではないか。

▽答 自治会の加入率が低下傾向にある中、加入促進対策としてチラシの配布、賃貸住宅施工業者や建築主に対して入居者の自治会加入の指導をしている。

自治会加入は任意のため強制はできないが、関係各課の相互連携により、粘り強く加入促進を図る。

▼問 21年度決算における財政評価は。

▽答 財政力指数は1.009、実質公債費比率は2.6%であり全国でもトップクラス、県下一の強い財政力を実現している。

▼問 これまでの行財政改革から、地域主権時代の市政をどう考えるか。

▽答 税収の確保、職員のマンパワーの強化、行革を断行し、都市経営力の強化に努め、「独立都市自治体」として地域の個性を活かした活力ある都市づくりを展開していく。



自治会連合会での自主防災訓練

子宮頸がんワクチン接種に助成を

国の動向を注視、前向きに対処

▼問 子宮頸がんは予防できる唯一のがんといわれている。

予防ワクチンの接種費用は高額だが、市独自で公費助成をする考えは。

▼答 国が子宮頸がん予防対策強化事業として、150億円を予算概算要求に計上している。

任意接種に対して初めて行われる補助で、市町村独自の事業を国が支援する位置付けとなっており、国の制度設計の動向を見て前向きに対処していく。

▼問 ヒブ、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成をする考えはあるか。

▼答 市長会などを通じて、国に定期接種化を要望している。

厚生労働省で定期接種化の早期実現に向けて検討されており、前向きに対処していく。

▼問 定期予防接種ワクチンの接種率はどのくらいか。

定期予防接種にはインフルエンザ、麻疹・風疹、BCG、三種混合（ジフテリア、百日ぜき、破傷風）、二種混合（ジフテリア、破傷風）、ポリオ、日本脳炎の7種類があり、接種率は、おおむね90%以上となっている。

▼問 病気にかかる前のワクチン接種は医療費軽減の重要な施策であると思うが、ワクチン接種を無料化あるいは補助する考えは。

▼答 現在は、任意接種は自分の健康は自分で守るという観点から、個人負担と考えている。

しかし、国の予防接種部会で、費用負担については、感染症の発生・まん延の防止という集団防衛を目的とする予防接種は公費による負担、個人の発症・重症化予防を目的とする予防接種は医療的とする予防接種は医療保険による負担で実施することを検討されており、その動向を見守っていき

100歳以上の所在確認

的とする予防接種は医療保険による負担で実施することを検討されており、その動向を見守っていき

▼問 当市に住民登録されている100歳以上の高齢者の人数はどれくらいか。

また、所在確認はどのような方法で行っているのか。

▼答 9月1日現在で女性24人、男性8人の合計32人となっている。

介護保険の給付状況や施設や在宅の介護事業者への問い合わせ、本人への電話などで所在の確認を行っている。

▼問 戸籍上生存とされている人数と今後の所在不明者への対応は。

▼答 戸籍上生存している100歳以上の方は69

老人施設の防火体制

人で、そのうち所在が分からない方は32人いる。今後は、岐阜県方法務局で開催される戸籍事務研究会での説明に従い、他の自治体と足並みをそろえて対応していく。

▼問 グループホームの防火体制はどうなっているのか。

▼答 市内の15施設のグループホームはすべて防火管理者が選任され、消防計画に基づく消防訓練なども適正に行われており、消防法上の問題は無い。

▼問 消防用設備、防火管理に問題はないか。

▼答 消防用設備の設置状況は、スプリンクラー設備は7施設、自動火災報知設備は12施設、消防機関への通報設備は10施設に設置されている。

23年度までに設置が義務付けられた延床面積275㎡以上のグループホームのスプリンクラーは、国の交付金を活用し、事業者が設置する予定である。設置義務のない275㎡未満のグループホームについては、今後、事業者に対して設置の働きかけをしていく。

▼問 グループホーム以外の高齢者福祉施設についても職員体制などの調査を行っているが、何か問題はなかったか。

▼答 国の施設運営基準に従って職員が適切に配置されており、勤務体制上問題となる施設はない。



消防機関に通報する火災通報装置

小中学校にエアコンの設置を 耐震化を最優先、今後の課題に

▼問 今年 は記録的な猛暑が続いていた。

小中学校の普通教室にはエアコンが設置されておらず、教室内はとても暑いと思うが、小中学校の教室内の気温や湿度の実態調査を行っているか。

▼答 すべての小中学校で、毎日、気温や湿度などを測定している。

午後2時ごろの一番暑い教室の平均室温は35.2度で、平均湿度は52.4%であった。

▼問 すべての小中学校にエアコンを設置するには、どのくらいの費用がかかるのか。

▼答 小中学校の普通教室へのエアコン設置費用は、小学校が1億3千万円程度、中学校が6億円程度としている。

さらに、年間維持費は3400万円程度と試算している。

▼問 小中学校の教室に

エアコンの設置を検討する考えは。

▼答 小中学校の校舎の耐震化を最優先に進めており、エアコン設置は、今後の課題と考えている。

防災教育



小学生が参加した総合防災訓練

▼問 将来の地域防災の担い手となる子どもたちの防災意識を高めるため

に、学校ではどのような教育をしているのか。

▼答 小学校5年生や中学校2年生の社会科の授業で災害と防災の学習をしている。

また、小学校5、6年生、中学校1年生の理科の授業で地震や台風など自然災害について学習しながら、防災意識を高めている。

保健の授業では、災害により被害にあった時の対処法や手当ての仕方を学習している。

不登校の実態

▼問 不登校児に占める発達障がい児の現状をどこまでつかんでいるか。

▼答 発達障がいのある子どもの割合は、子ども全体の約6%とされている。

現在不登校になっている子どもたちのうち、発

達障がい原因になっている場合もあると考えられる。

しかし、発達障がいはいは医師の診断を必要とするので、明確な数を出すことは難しい。

▼問 教育委員会が不登校に関する専門家チームを作り、学校を巡回相談していく計画はあるか。

▼答 不登校の児童生徒一人一人について、臨床心理士や子ども相談所などの専門家が参加するケース会議を開き、対応を行っている。

今後は専門家チームによる巡回も検討していく。

▼問 将来のリーダーを育てる教育は、どんなことを行っているのか。

▼答 リーダーの育成は学校の教育活動の中でも行っているが、本市や国を支えるような高い志を持ち、将来も継続して活躍する子どもを育てるために、中学生を対象に各務野立志塾、小学生を対象に各務野冒険塾を行っている。



各務野立志塾

立志塾や冒険塾の体験学習が、20年後30年後に開花することを期待している。

▼問 小惑星探査機「はやぶさ」が7年の旅を終え、6月に帰還した。

JAXA（宇宙航空研究開発機構）は、宇宙活動の普及啓発に役立てることを目的に「はやぶさ」帰還カプセルなどの展示協力団体を公募している。当市でも、JAXAに申請をしては。

▼答 帰還したカプセルなどは、世界で唯一の貴重な財産である。展示の実現に向け、貸与申請をしていく。

集中豪雨・洪水に対する備え

アンダーパスの安全対策は

▼問 今年の梅雨の間、雨水による被害はあったか。

▼答 6月23日早朝の豪雨で、山から駐車場へ土砂が流れ出る被害が1件、アンダーパスでの車両被害が1件あった。

水に対する安全対策はどうなっているのか。

▼答 すべてに、排水ポンプと注意看板を設置しており、三井東町には回転赤色灯を設置し注意を促している。

豪雨時には消防防災機関と連携し、昼夜問わずパトロールを実施している。

▼問 県によって土砂災害危険箇所所質地質調査が行われているが、その調査状況と結果は。

▼答 県が土砂災害防止法に基づき基礎調査を実施している。

▼問 国道21号線などの下をくぐるアンダーパスの総数は。

▼答 市が管理するアンダーパスは、国道21号線の三井東町から那加緑町区間に4カ所、東海北陸自動車道各務原インター下に1カ所の計5カ所ある。

▼問 アンダーパスの冠



国道21号線のアンダーパス(三井東町)

昨年度に市内の急傾斜地の現地調査を終え、今年度は土石流危険箇所の現地調査と急傾斜地の調査結果を精査中であり、両方の基礎調査結果がまとまり次第、土砂災害の恐れのある地域については「土砂災害警戒区域等」に指定されることになる。

▼問 境川周辺は都市化

が進み、大雨が降ると河川が氾濫する恐れがある。

境川流域の市町と連携して対策をとる必要があると思うが、どう進めているのか。

▼答 境川の河川改修は、河川管理者である県が下流から順次整備を進めている。

流域全体の対策は、県と流域市町で「境川流域総合治水対策協議会」を設置し、調整池の確保や校庭貯留施設の整備など、流域全体が協力・連携して浸水対策に取り組んでいる。

▼問 川島地区は堤防で守られているが、一部未整備のところもあり、一日も早い整備を望んでいる。

未整備の堤防の整備計画は。

▼答 川島地区西部の堤防計画については、早期に整備されるよう「岐阜県木曽三川改修工事促進期成同盟会」を通じ、国に要望していく。

▼問 川島地区は宅地開発が進んだが、排水の整備が追いついていない。

排水計画の見直しが必要だが、見直しの予定は。

▼答 旧川島町時代に計画された雨水計画に基づき一部整備されているが、川島地区西部の堤防計画にあわせ、雨水計画の見直しが必要だと考えている。



川島地区西部の堤防

民間駐車場の緑化

▼問 民間有料駐車場の緑化推進を図ってはどうか。

▼答 接道緑化補助制度を設けているが、補助対象は、建物敷地における接道部の緑化に限られて

おり、駐車場などは補助対象になっていない。

▼問 新しく造成する民間の駐車場に、今後緑化を義務付ける考えは。

▼答 民間駐車場の緑化は、駐車スペースの削減が伴うことや、民間駐車場の把握が困難なこと

から、義務付けは難しいと思うが、緑化への協力を依頼していく。

▼問 不用品回収業者が回収場所での不用品を山積しているが、景観上の指導基準は。

▼答 景観上の指導基準は、景観計画で定めている。

回収したものを遮へいする場合には、植栽の実施など周辺の景観との調和に配慮することや、回収物を積み上げる場合には、可能な限り低くし、

整然かつ威圧感のないように努める内容となっている。

回収業者には良好な景観形成に配慮するよう指導していきたい。

『すばらしい市民公園の植樹』

退職後、足腰の衰えと健康を保つため、尾崎の三峰山や権現山などの散歩を始めました。

そして岐阜大学が那加にあった当時学生だった友人に案内してもらって、市民公園や旧農場跡地などを散歩するようになりました。

市民公園の東角近くに遠藤儀作さんの胸像がありますが、遠藤さんは大正6年から旧那加村の村長であって、大正12年、この地に岐阜高等農林学校を誘致されたことを知りました。

また、近くに岐阜大学農学部卒業生が建てた「凛乎真摯学園跡碑」があり歴史を知ることができました。

この公園で、グループや家族で遊ぶ市民の皆さんを見ながら何回も散歩するうちに、直径1メートルを越す古木や珍しい木が多いことを知りました。

これらの樹木は、岐阜大学が昭和57年に移転するときに残していただいたと聞きました。

樹木については全く知識がない私は、市民公園や駐車場、那加福祉センター、旧農場跡地学びの森で名札の付いている木125本を記帳しました。しかし、不明な木が多いことから友人とともに



尾崎南町
櫻井 進さん

市役所の水と緑推進課のみどり管理室にまいりました。

みどり管理室では、貴重な資料をもとに丁寧に説明いただき、全体では約240本の種類があること、市の保存木としてモッコク、クスノキ、ツブラジイ、ヤマモモなどがあることを教えていた

できました。

公園の木には、落葉樹、常緑樹、針葉樹がありますが、春にはそれぞれ特徴のある新芽が出て若葉になります。

開花時期は違いますが、花を観察しますと、花の色、大小、形、香りなどに興味を持ちました。

そして、実がなり、紅葉し落葉しますが、それぞれの木に特徴があり本来に魅力を感じています。

那加福祉センター前から東へ向かう道路の両面には、メタセコイアやイチヨウが育ち、冬のソナタの舞台を思わせています。

このすばらしい市民公園が、今後も市民の憩いの場として残っていくことを願っています。

※凛乎真摯とは・・・

厳しい状況の中でもまじめに真心を持って生きてほしいという意味。現在も岐阜大学応用生物科学部憲章「1. 教育の目標」に掲げられている。

ご覧になりましたか、議会中継

本会議の様子をインターネット中継

(ライブ・録画) しています

市ウェブサイト「市議会」からアクセスを

<http://kakamigahara.gijiroku.com/video/>

次の定例会は、11月26日に開会予定です



議会素描

▼観測史上113年間で最も暑かった今年の夏。

9月議会も「猛暑」続きの議論の中、閉会へ。

▼開会時は酷暑、閉会時は朝夕寒く。

クールビズから一気にウォームビズか？

▼市議会だよりの編集を終えて、休む間もなく次の議会を考え大いに悩む。

答えは市民の中に。

▼21年度の決算を審査。

「最小の経費で最大の効果」を挙げることができたか。

▼借金返済の割合を示す

実質公債費比率は2.6%と堅調。

行財政改革のたゆまぬ努力が今後の自治体運営の力ギ。

* * *

市議会だより編集委員会

◎高島貴美子

○川嶋一生

水野岳男、池戸一成

杉山元則、梅田利昭

(◎委員長、○副委員長)